

山形県立上山明新館高等学校 平成30年度 学校評価書

学校 教育 目標	(1) 心身ともに健康で、豊かな情操を持つ人間を育成する。
	(2) 真理を求め、責任を重んじ、社会の変化に対応してたくましく行動できる人間を育成する。
	(3) 創造力に富み、自ら考え、主体的に学ぶ意欲と豊かな知性を持つ人間を育成する。
	(4) 国際的な視野を持ち、郷土を愛し、社会に奉仕し貢献できる人間を育成する。

目指す 学校像	(1) 校訓「日々新たに、また日に新たなれ」のもと、学習活動と特別活動、地域連携ボランティア活動などから、主体的に行動できる「人間力」のある生徒を育てる。
	(2) 専門学科で学ぶ知識や体験、資格を活かして社会に貢献できる、意欲あふれる生徒を育てる。
	(3) 特別活動や地域活動に積極的に参加し、人と人とのつながりを大切に、たくましい生徒を育てる。

< 評価基準 A:達成 B:概ね達成 C:やや不十分 D:不十分 >

領域	重点目標	評価項目・具体的目標(1~15)	H30評価	昨年度	次年度に向けた課題と改善策	学校関係者評価(平成30年度)
生徒理解	①面談及び教育相談活動の充実 ②不適応生徒への対応の充実 ③教職員の生徒理解を図る研修の充実	1. 面談実施と生徒理解の充実 ・学校適応指導委員会の開催 年8回 ・教育相談事業の実施 年24回 ・教職員の研修会の実施 年1回	① B ② B ③ B	① B ② A ③ B	・計画的かつ組織的な面談活動の継続 ・職員間の生徒情報の共有 ・特別な支援を要する生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> ・上山明新館は多様性があり、探究型学習に力を入れ、地域と連携している点が良い。今後もそれらの活動に力を入れていくとよいのではないかと。自治体とも連携して若者が居なくなるような地域にすることが大切である。 ・新聞等で上山明新館の校名を見つけると頑張っていることを感じる。特色を出していくとよい。国公立何名という目標もよいが、生徒の第一志望達成という目標も大切ではないか。 ・いじめや体罰等の問題が起こったときには保護者にしっかり説明することが大切である。意欲や主体性が弱い生徒には、認めて励ますような関わりをお願いしたい。 ・高校生にもなると、保護者と学校のつながりが少なくなるが、進路など関心の持てる内容で保護者の参加を促してほしい。 ・部活動の活躍も大切だが、生徒がつぶれないようバランスも大切である。 ・上市市社会福祉協議会と連携して、除雪ボランティアに取り組んでもらった。高齢者帯の方に大変喜んでくれた。今後も地域貢献に協力してもらえとありがたい。 ・生徒は挨拶もよく立派であると、近隣の町内会(八日町、東町、美咲町)会長から聞いている。今後も続けてほしい。 ・「明新館通信」は、近隣の住民にも閲覧されており、学校の様子がわかってよいとのことだった。
学習指導	①学ぶ意欲の向上 ②学習習慣・基礎学力の定着 ③指導法の研究・改善 ④学習センターの利用拡大	2. 出席率99%以上 3. 授業第一の考えの徹底と家庭学習時間の確保 ・生徒による授業評価と授業改善 ・家庭学習時間調査の実施 ・教科ごとに1人以上の研究授業の実施 ・クラス及び全校一斉読書の実施、年間一人3冊以上貸出	① B ② B ③ B ④ A	① A ② C ③ B ④ B	・出席率の維持向上のための方策の検討 ・家庭学習時間の目標明示及び家庭学習習慣定着のための指導の工夫 ・新教育課程への対応及び授業研究 ・本に親しむ指導の継続と工夫 今年度貸出数は一人4.05冊 ・探究型学習の推進	
生徒指導	①品性ある行動と規範意識の向上及び生活習慣の確立 ②いじめ未然防止、早期発見、組織的対応 ③特別活動の充実と自治的能力の向上 ④部活動の充実・発展 ⑤地域貢献活動への積極的参加	4. 校訓の理解と実践及び挨拶の日常化 5. 規範意識の向上と問題行動の減少、いじめの絶無 6. 部活動の奨励 全国高校総体等団体1、個人5人以上 全国高校総文祭等団体1、個人5人以上 7. 地域貢献活動・ボランティア活動の理解と積極的参加 ・交通安全及び公共マナー指導の充実 ・主体的な生徒会活動の活発化	① B ② B ③ B ④ B ⑤ A	① B ② B ③ B ④ B ⑤ B	・問題行動の未然防止といじめ防止のための情報共有と全職員での取組み ・交通安全及び公共マナー指導の徹底 ・自主的・主体的な生徒会活動とリーダー育成 ・部活動奨励とガイドラインへの対応 ・地域貢献活動の継続と推進 今年度ボランティア参加 68件・延739人	
進路指導	①キャリア教育の推進 ②進路目標の早期設定と進路実現 ③組織的・機能的な指導体制の確立	8. 「キャリア教育総合実践プログラム」の実施 9. 国公立4年制大学10名以上、私立大学60名以上合格 10.看護・医療系専門学校30名以上、公務員10名以上 11.就職内定率100% ・「進路の手引き」の活用、ガイダンスの充実 ・小論文指導研究と情報共有及び効果的指導の実践	① B ② B ③ B	① B ② A ③ B	・探究型学習と進路目標達成との連動 ・「総合的な探究の時間」の指導体制構築 ・今年度は国公立4年制大学9名合格 指導体制構築と指導法の研究 ・大学入学共通テストへの対応	
信頼される学校づくり	①RTA活動を通じた保護者との連携 ②外部評価の実施と活用・公開 ③情報発信による開かれた学校 ④体罰の絶無 ⑤地域関連学習の促進 ⑥積極的な研修と資質向上	12.PTA総会、PTA学年部会出席率60%以上 13.学校評価アンケートの実施 14.学校HP随時更新及び「明新館通信」「学年通信」の発行 15.魅力ある学校づくり 中学生体験入学の実施 ・地域関係機関や農家と連携した研究 ・「研修集録」の発行	① B ② B ③ B ④ A ⑤ A ⑥ B	① B ② B ③ B ④ A ⑤ A ⑥ B	・PTA総会参加率維持とPTA活動充実 ・学校評価アンケートの有効活用 ・HPの随時更新と各種通信の発行 ・体罰絶無への引き続きの取組み ・魅力ある学校づくりへの取組みを再検討	

アンケート評価(回答の選択肢 a:よくあてはまる b:ややあてはまる c:あまりあてはまらない d:まったくあてはまらない e:わからない)

※以下の分析・把握では、「a」「b」を「肯定的評価」としている。

生徒	19項目中13項目で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。「学科・コース・科目選択に満足している」で90.2%、「学習内容は自分の希望に適したものになっている」89.9%、「本校に通うことは意義がある」が89.8%とともに高評価となっており、生徒は概ね本校での学校生活を肯定的に捉えている。一方「わからないことがあるとよく質問に行く」が36.7%、「読書に励み視野を広げようとしている」が44.0%と肯定的評価が低く、学習への意欲や主体性を引き出し、育てていく工夫が引き続き求められる。
保護者	21項目中17項目で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。本校の教育活動全般について、概ね理解していただいているとうかがえる。「本校に通うことは子どもの将来にとって意義がある」が94.7%、「生活規律の指導方針は理解できる」が93.9%、「生徒の進路目標達成に努力している」が92.1%であり、ともに高評価であった。一方「PTA活動等学校の諸行事に協力している」が53.6%、「教職員とのコミュニケーションを大切にしている」64.8%、「学校からの情報提供で学校の様子が十分に伝わる」が68.1%であり、学校と保護者の連携が十分になるよう引き続き努めたい。
教職員	28項目中21項目で、高評価(肯定的評価が80%以上)であった。教育活動全般において、教員が高い意識をもち、丁寧で熱心な指導を行っていることと捉えることができる。「生徒の進路目標達成のための情報提供に努めている」「健康・安全に対する啓発活動を十分行っている」「いじめ防止のために丁寧な指導を行っている」「保護者への情報提供は十分行われている」は、肯定的評価が100%であった。一方「校務分掌はバランスを考えられたものになっている」は63.0%と昨年度比で23%増加したものの、「授業研究に励む環境が整っている」は48.9%と肯定的評価が多くはなく、業務環境の整備に引き続き努めていく必要がある。

